

サーキュラー・エコノミー-広域マルチバリュー循環（CE-MVC）研究会
の取り組みの一つとして、サーキュラー・エコノミー ミニ・テクニカル・プ
ラットフォーム＜公開 Zoom＞をご紹介します。

【題名】 No.13 サーキュラー・エコノミー ミニ・テクニカル・プラットフォ
ーム

【日時】 2026 年 11 月 30 日（月） 14 時から 15 時 40 分：Zoom 会議

【題目】 応用地質様ご紹介

「建設事業の環境問題における CE」

門間聖子／応用地質株式会社

【趣旨】

サーキュラー・エコノミーは物質が循環するだけでなく、ビジネスと消費が毛
細血管のように幾重にも絡み合うことで資源をより有効に使い社会の活動度を
上げていく新しいビジネスモデルです。そのためには、従来の方式では売るた
めの商品づくりに一方向で収斂していたモノづくり技術を、多様な需要や使用
そして再使用の要求にこたえていくことが重要です。

しかし、私たちは、依然として売るためのモノを大量に作ることが効率的であ
るという発想に縛られてしまいます。そこで、必要となるのが、多様な技術や
システムの発想を外から持ってくるオープン・イノベーションが求められま
す。それを支える一つの手段が、オープン・イノベーションのための情報プラ
ットフォームです。特に、モノづくりの技術はこのプラットフォームで、モノ
のメンテナンス、修理、劣化防止、リファービッシュなどへと大きく展開して
いきビジネスチャンスを広げることが期待されます。

サーキュラーエコノミー&広域マルチバリュー循環研究会では、まず研究会の
中から、そのようなプラットフォームを試行的に試みようと思っており、「ミ
ニ・テクニカル・プラットフォーム」と名付けて、オンラインでのフリー参加
できる、技術の紹介や、技術の需要、期待などを紹介し合える場を試みたいと
思います。なお、より広範に人や技術、解決すべき課題と出会えるように、聴
はオープンとし、ZOOM とともに youtube を用いますが、技術の提供や、要

望は基本的に研究会の会員からの発案に限らせていただきます。

今回は、技術アイテムとして、応用地質様をご紹介します。

【概要】

建設事業では、大量の掘削土が発生する一方、自然由来重金属等を含む土の取扱いが課題となっています。本講演では、自然由来重金属等問題の現状と従来の対策の課題について紹介するとともに、資源循環の促進、過剰対策の低減、CO2 排出削減の観点から、建設掘削土の取扱いにおけるサーキュラーエコノミー実現の可能性について考えます。

【アジェンダ】

14:00-14:05 挨拶

原田幸明 CEMVC 研究会 代表理事

14:05-15:10（途中休憩 5 分有り）

「建設事業の環境問題における CE」

門間聖子 / 応用地質株式会社

15:10-15:40 展開討論

ーCE 視点からの可能性と連携を考えるー

【参加者】

参加、無料です。

メディア等の方も事前申し込みをお願い致します。

【参加方法】

以下の URL から、選択し、お申し込みください。

<https://circular-industries.net/meeting/>

お申込により、Zoom および YouTube の URL が見れます。